

みずほCustomer Desk Report 2018/12/20 号(As of 2018/12/19)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	112.52	1.1376	128.00	1.2653	0.7190
SYD-NY High	112.67	1.1439	128.37	1.2679	0.7201
SYD-NY Low	112.09	1.1362	127.54	1.2608	0.7088
NY 5:00 PM	112.49	1.1378	128.03	1.2613	0.7108
NY DOW	23,323.66	▲ 351.98	日本2年債	-0.1500	1.00bp
NASDAQ	6,636.83	▲ 147.08	日本10年債	0.0300	1.00bp
S&P	2,506.96	▲ 39.20	米国2年債	2.64	▲ 0.42
日経平均	20,987.92	▲ 127.53	米国5年債	2.63	▲ 2.71
TOPIX	1,556.15	▲ 6.36	米国10年債	2.76	▲ 6.08
シカゴ日経先物	20,665	▲ 340	独10年債	0.2370	▲ 0.50bp
ロンドンFT	6,765.94	64.35	英10年債	1.2695	▲ 0.90bp
DAX	10,766.21	25.32	豪10年債	2.3810	▲ 3.00bp
ハンセン指数	25,865.39	51.14	USDJPY 1M Vol	6.28	▲ 0.18%
上海総合	2,549.56	▲ 27.09	USDJPY 3M Vol	7.03	0.02%
NY金	1,256.40	2.80	USDJPY 6M Vol	7.43	0.00%
WTI	48.17	1.57	USDJPY 1M 25RR	-1.15	Yen Call Over
CRB指数	176.21	1.79	EURJPY 3M Vol	8.33	0.03%
ドルインデックス	97.00	▲ 0.11	EURJPY 6M Vol	8.84	0.06%

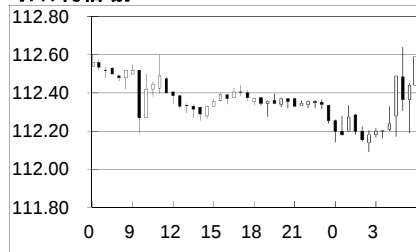
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月19日	08:50	日 貿易収支	11月 -¥737.3b	-¥630.0B
	16:00	独 PPI(前月比/前年比)	11月 0.1%/3.3%	-0.1%/3.1%
	18:30	英 CPI(前月比/前年比)	11月 0.2%/2.3%	0.2%/2.3%
	18:30	英 CPIQ7(前年比)	11月 1.8%	1.8%
	22:30	加 CPI(前年比)	11月 1.7%	1.8%
12月20日	00:00	米 中古住宅販売件数	11月 5.32M	5.20M
	04:00	米 FOMC 政策金利	- 2.25%-2.50%	2.25%-2.50%
	04:30	米 パウエルFRB議長 講演	9月FOMC以降、一部で逆流が発生	

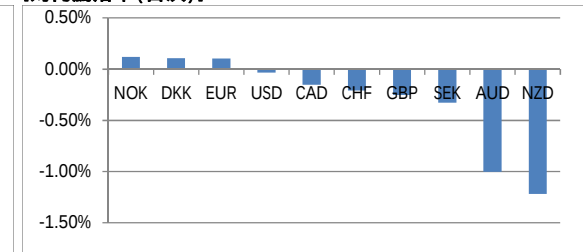
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月20日	09:30	豪 雇用者数変化/失業率	11月 20.0k/5.0%	32.8k/5.0%
	18:30	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	11月 0.2%/2.3%	-0.4%/2.7%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	15-Dec 215k	206k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.00-113.00	1.1300-1.1420	127.50-128.50

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は112円台前半まで下落した後、反発して行ってきた展開となった。欧州時間から北米時間午前にかけてはFOMCを控えハト派シフト警戒感からドル円は上値重く推移。FOMCの結果、大方の予想通り25bps利上げした一方で、2019年中の利上げ回数予測を3回から2回とし、中立金利予想(Longer-Run)を引き下げた。この結果を受け米株下落・米長期金利低下となるも、為替市場では事前予想程ハト派ではないと受取られドルが買い戻される中、ドル円は反発し112円台半ばでクローズ。本日についてはFOMCの結果が事前に警戒されたほどのハト派ではなかったことや実質年内最後の5・10日となることからドル円については底堅い展開を予想。

東京	東京時間のドル円は112.52レベルでオープン。日経平均株価が軟調推移となり約2ヶ月ぶりに2万1000円台を割り込む展開となるとドル円も連れ安となり一時112.19まで下落。その後、日経平均株価が急速にプラス圏まで切り返す展開とあってドル円も112.60まで大きく上昇。しかし、その勢いは長続きせずじり安推移となり再び112円台前半での推移に。結局112.39レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は112.39レベルでオープン。年末に近いことやニューヨーク時間にFOMCを控えている事から動意薄く、狭いレンジで推移し、112.36レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1385レベルでオープン。イタリアの2019年予算案がEUと合意した旨が報じられるとユーロは上昇し、一時1.1414まで堅調に推移した。1.1404レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2656レベルでオープン。朝方公表された英11月CPIは2017/3以来の低水準となり、ポンドは売られる展開に。1.2626レベルでクローズした。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	ドル円は112.36でNYオープン。FOMCにおいて来年以降の利上げペースが鈍化する見方が強まる中、朝方はドル売りが進み112.14まで下落。その後、米11月中古住宅販売件数が予想を上回ったこと等によりサポートされ112.33まで戻すが、依然と上値は重く112.09まで反落する。注目のFOMC結果発表では政策金利が25bp引き上げられる一方、2019年の利上げ見通しは前回予測の3回から2回に引き下げられたことが伝わり、市場の予想通りであったことからドルが一貫買い戻され112.64まで上昇する。その後、声明文や議長会見で世界経済や金融動向を注視する必要があることや、インフレ率が従来の想定から低いと示されたことが意識され、大幅高だったダウ平均がマイナス圏に急落する動きに112.19まで反落。しかし、ドルが買い戻される展開が続いたことから、112.67まで高値を更新し、結局112.49レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.1404レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き継ぎ1.1439まで上昇。午後はFOMC発表後にドル買いが強まり1.1365まで反落し、結局1.1378レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 網島・森谷